

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和5年度第2回入間市立図書館協議会
開 催 日 時	令和5年11月24日(金) 午後2時00分 開会 ・ 午後3時20分 閉会
開 催 場 所	入間市教育センター 第1・第2研究室
議 長 氏 名	会長 清水繁
出席委員(者)氏名	清水繁、大竹千里、野崎皓布、森谷秀一、浅地由紀子、松田千代、 青山衣津子、芳賀隆夫
欠席委員(者)氏名	塩澤榮一、石川京子
説明者の職氏名	館長 平岡康子、副主幹 松橋茂子、副主幹 松下麗比奈、 西武分館長 本田潤一
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 あいさつ 3 報告事項 (1) 令和4年度社会教育施設アクションプラン外部評価について (2) 令和5年度上半期の事業について (3) 令和5年度図書館を使った調べる学習コンクールについて (4) 令和5年9月定例市議会の一般質問について 4 その他 5 閉会 (すべて公開)
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	・次第 ・令和4年度社会教育施設アクションプラン外部評価について (P1～ P6) 資料1 ・令和5年度上半期の事業について (P7) 資料2 ・令和5年9月定例市議会の一般質問について (P8～P11) 資料3 ・第3回 入間市 図書館を使った調べる学習コンクール
事務局職員職氏名	部長 浅見嘉之、次長 佐藤政史、館長 平岡康子、副主幹 松橋茂 子、副主幹 松下麗比奈、主任 佐藤敏章
会議録作成方法	要点筆記方式

会 議 録 (2)

議事の概要(経過)・決定事項

1.開会

2.会長あいさつ

3.報告事項

(1) 令和4年度社会教育施設アクションプラン外部評価について

(2) 令和5年度上半期の事業について

(3) 令和5年度図書館を使った調べる学習コンクールについて

(4) 令和5年9月定例会市議会の一般質問について

4.その他

なし

5.閉会

会議録(3)

発言者	発言内容
松橋副主幹	<p>報告事項 (1) 令和4年度社会教育施設アクションプラン外部評価について (資料1に基づき説明)</p> <p>第1回の図書館協議会では、図書館における自己評価を報告いたしました。これを踏まえて、委員の皆様へ外部評価として評価いただいたものをまとめました。</p> <p>表の右から2番目の外部評価の「事業評価点数」については、10人の委員の評価の平均点を記入しました。ほとんどが自己評価と同じ点数ですが、自己評価と外部評価が異なる事業の実施内容について説明します。</p> <p>「読み聞かせボランティアグループのおはなし会への参加」(1ページ)の外部評価は4.9点で、自己評価5点を若干下回っています。コロナや高齢などの理由で、ボランティア参加を控えて辞められる方などがいる中で、図書館とボランティアの連携をさらに深めていただければボランティアも活動がしやすいのではないかとのご意見も伺っています。引き続き連携を図り、ボランティアの人員の確保に努めてまいります。</p> <p>「本館閲覧席開放事業」(2ページ)は自己評価が3点に対して、外部評価は2.9点となっております。この事業については、第1回の図書館協議会で様々なご意見をいただきました。ここでもまた、多くのご意見をいただいています。第1回図書館協議会では、夜間開館に係る光熱費や人件費などの経費を踏まえて、継続をするか協議していただきましたが、少ない利用者でも夜間閲覧席開放は継続した方がよいとのご意見が多数ありました。利用する方のニーズや利用目的を確認したり、通年ではなく時期を限定したりすることも検討すべきとのことでした。今回の評価も、費用対効果を考慮して限られた予算を活用し効果的な運営をすべきというご意見もありますが、継続を希望する、検討してほしいとのご意見もいただいたことから、夜間閲覧席開放事業については、利用状況等を確認しながら引き続き、今後も検討してまいります。</p> <p>「ダイア4市との相互利用促進」(2ページ)については、自己評価が5点に対し、外部評価は4.9点となっております。事業評価の主な理由及び意見として、「よい連携をしていただきたい」「休館日を一律同じ月曜日でなく、ずらしてもらおうと利用者は有難い」が挙げられます。今後も近隣市との連携をしていく中で、相互利用促進のための、一つのご意見として検討してまいります。</p> <p>他に、ご意見が多かった事業としては、「ボランティア研修会の実施」(1ページ)について、研修会の実施を望む意見が多数ありました。また、「蔵書資料点数の充実」及び「市民ニーズに応える資料の充実」「市民ニーズに応えた一般向け図書の購入」についてのご意見もいただきましたので、今後の図書の購入について参考とさせていただきます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
芳賀委員	<p>また、4 ページからの「2 家庭・地域の教育力の向上」学校との連携についても多数ご意見をいただきました。この評価をもとに、今後も利用促進に向けて努めてまいります。</p> <p>4 ページの「コミュニティ FM 放送に出演」についてですが、出演回数も多く、このような媒体も活用しているのかと感心しました。</p> <p>ケーブルテレビも利用して情報提供を行っているのは大変良いことだと思います。今後も、コンクールや映画会などの行事を様々な媒体を活用し PR していただきたいと思います。</p>
平岡館長	<p>FM チャッピーでは、毎週木曜日 12 時 40 分頃から「本のある生活」というコーナーにおいて、職員が本の紹介をしています。</p> <p>また、入間ケーブルテレビには、イベントの際に取材に来てもらっています。</p>
森谷委員	<p>2 ページの青梅市との相互利用促進や、図書館資料の充実に関連しますが、以前、マジックの本を、職員の方に探してもらい、春日部市の図書館から 10 日程で取り寄せていただきました。このように短い期間で取り寄せられるなら、連携を深めてもらうことによって、他の図書館の蔵書をすぐ利用できるようにしてもらえるのはとても良いことだと思います。</p>
平岡館長	<p>本来であれば、入間市の図書館にご希望の本がいつでもあるというのが望ましいと思いますが、限られた予算の中で本を揃えているところですので、埼玉県内の図書館と連携して、迅速に利用者の方に本を届けられるよう努めてまいります。また、このサービスについて、市民の方に周知してまいります。</p>
清水議長	<p>2 ページの青梅市との相互利用促進についてですが、外部評価の「青梅市は遠いし、わざわざ入間市に来ないと思う」という意見はもっともだと思います。青梅市民からすると、河辺駅前には立派な図書館ができ、また、図書館を併設した市民センターも多数あるので、入間市の図書館の利用は少ないと思います。資料 10 ページにあるように、金子の市民が青梅市の図書館を利用する機会は多いようです。</p>
平岡館長	<p>9 月議会において、宮岡議員から図書館へ一般質問がありました。10 ページに記載のあるとおり、青梅の図書館を利用している入間市民の方が多い状況ですが、相互の市民の方にとって利便性が高められるよう、利用促進を目指してまいります。</p>
青山委員	<p>前回議論となった本館閲覧席開放事業について、受験生の現状を知る機会がありましたのでお伝えします。</p> <p>私が大学受験をした頃、指定校推薦・自己推薦というのは、全体の 1 割程度でしたが、現在は全体の半分が推薦で、進学先が今くらいの時期には決ま</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>ってしまい、それ以降はあまり勉強しないそうです。残り 5 割の国公立や医学部や薬学部を受験する子どもは、入試に向けて 1 月の終わりから 2 月のはじめまで勉強し、さらに 2 割は国公立の 2 次試験に向けて 2 月末まで勉強するのが一般的のようです。</p> <p>学校も働き方改革などで早く閉まってしまい勉強できない、塾に行っていない、2 月の試験まで頑張るといふ、子どもの居場所というのではないと困るのではと思います。1 年位は、経過を観察してみてもいいのではないかと思います。</p>
平岡館長	<p>本館閲覧席の開放については、図書館でも皆様からいただいた意見をもとに、利用状況等を確認しながら引き続き検討してまいります。</p>
清水議長	<p>外部評価の時点で書きませんでした。武蔵野音楽大学などの市内の大学や東京家政大学、駿河台大学などの近隣の大学の図書館との蔵書の連携等も検討していただければと思います。</p>
平岡館長	<p>大学との連携についてですが、例えば東京家政大学につきましては、入間の図書館で紹介状を出すことができ、紹介状があれば大学の本を利用できるという制度もあります。このような制度についても、周知したいと思います。</p>
松田委員	<p>本館の夜間開館時間延長について、来館している方がどういう方で、どのような目的で来ているかということは、調べていますか。</p>
平岡館長	<p>目視では把握するようにしております。今後アンケートの実施も検討しております。</p>
松田委員	<p>やめることによって不利益を被る方がいるかもしれませんので、お調べになった方が良いでしょう。</p>
清水議長	<p>宮岡議員の一般質問（資料 3）にもありましたが、レファレンスサービスをより充実させるためには、図書館職員の資質向上に向けての研修等への参加が重要かと思えます。アクションプランでは研修の参加回数が 1 回とありましたが、より増やしていただければと思います。</p>
松下副主幹	<p>(2)令和 5 年度上半期の事業について (資料 2 に基づき説明)</p> <p>本館では、5 月に市内高等学校、豊岡高校、入間向陽高校、東野高校の 3 校の図書館司書の方と連携会議を行いました。各学校の生徒の読書状況をお聞きし、これを踏まえて、図書館でもティーンズ（中高校生）向けの蔵書を増やしています。また、この会議を機に、各高校との連携を図り、「夏休み 1 日図書館員」では、延べ 25 名の高校生ボランティアに協力していただくことが</p>

発 言 者	発 言 内 容
本田分館長	<p>できました。</p> <p>5月から7月にかけては、小学2年生を対象とした「図書館利用教室」及び小学3年生を対象とした「図書館施設見学」を行いました。その中で、移動図書館車やまぼと号が巡回している学校については、改めてやまぼと号の紹介をしたところ、次の巡回時からは、多くの児童が本を借りに来てくれるようになりました。</p> <p>移動図書館車やまぼと号につきましては、8月に藤沢東小学校からの依頼があり、特別訪問しました。通常の巡回は行っていないため、藤沢東小学校の児童にやまぼと号を知っていただく良い機会となりました。</p> <p>また、同じく8月に青少年活動センターの夏フェスティバルに参加し、木陰で読書を楽しんでいただきました。</p> <p>6月には、「学校図書館ボランティア研修会」を行いました。これは、小中学校の図書館でボランティアをしている方を対象に「本の修理」についての研修を行ったもので、17名の参加がありました。実際に修理が必要な学校の本も持って来ていただき、図書館職員の指導のもと、修理を行いました。</p> <p>庁内各課との連携では、8月に人権推進課主催の「入間市平和祈念資料展」、9月に農業振興課主催の「入間市自然展」へ展示本での参加を行いました。普段、なかなか手にとってもらえないような本もこの機会に見ていただけたと思います。</p> <p>また、資料には記載がありませんが、5月にコロナ禍が5類に移行してからは、本館内のおはなしのへやで、毎週土曜・日曜日に定期的におはなし会を再開しました。それまでは、大きい会議室で不定期に行っていたので、読む絵本にも制限がありましたが、おはなしのへやで行うことで、様々な絵本を読むことができるようになり、絵本の楽しさをよりお伝えできているのではないかと思います。</p> <p>なお、この11月より、赤ちゃん向けのおはなし会も再開いたしました。今後、第3火曜日の午前11時から行う予定です。先日21日には、3組の親子に参加していただきました。始まったばかりなのでまだ参加者は少ない状況ですが、多くの方に来ていただけるよう周知に努めてまいります。</p> <p>宮寺配本所では、7月に「調べる学習講座」と「おはなし会スペシャル」を開催しました。おはなし会では、読み聞かせだけでなく、簡単な工作も行い、親子で楽しんでいただけたと思います。</p> <p>宮寺配本所については、この11月に一般書（主に小説）の入れ替えをしたほか、明日11月25日にもおはなし会を行います。また、今後児童書の入れ替えも予定しております。</p> <p>以上、本館では、上半期も読み聞かせボランティアのどんぐりの皆さんを始めとするボランティアの皆様にご協力いただきながら、学校や関係各課と協力、連携を図って図書館本館の事業を実施しました。</p> <p>3分館の令和5年度上半期の事業報告をします。</p> <p>昨年度末から今年度4月にかけて開催した「ブックツリー 読書の木を育てよう」には、子どもから大人まで合計1,112点の（西武290、金子310、藤沢512）本の紹介文が集まり、各館で集まったおすすめ本のブックリストを作成</p>

発 言 者	発 言 内 容
野崎委員	<p>配布しました。</p> <p>9月開催の「本のPOP大賞 おすすめ本のPOPを書こう」には合計209枚の応募がありました。その中から各館で選定し、POP付きで本の展示をしました。子どもから大人まで参加していただきましたが、特に中学生の参加が多かったことが嬉しい結果となりました。</p> <p>また、9月には2回目となる「書評合戦 ビブリオバトル」を藤沢地区センターを会場に開催しました。3館からの代表者とボランティアグループ、一般参加者のバトラー8名で行いました。</p> <p>いずれの共通事業も、図書館だけではなく、幅広い年代層の方々のおすすめ本を紹介するきっかけとなり、図書館利用者の方々への読書推進につながられたと考えます。</p> <p>各分館の状況としまして、西武分館では、地域連携強化として入間市文化創造アトリエ「AMIGO」との連携事業の開催、西武中学校から夏期ボランティアの受入を積極的に推進しております。</p> <p>金子分館におきましても「金子地区情報交換会」「ふれあい金子納涼商工まつり」へ積極的に参加、子育て支援センターへの出張おはなし会を実施、今年度ははじめて宮寺小学校長からの要請を受けた出張授業「夏休み調べる学習講座」を行いました。</p> <p>藤沢分館におきましては、昨年度実施した「プログラミング講座」に引き続き、新規事業を積極的に推進しています。アロマセラピーの専門家を招いた「はじめてのハンドトリートメント」、理科実験を含めた「理科おはなし会」、「英語のおはなし会」などを開催、多くの参加者から高い評価をいただいております。</p> <p>以上3分館の令和5年度前期の事業報告となります。</p> <p>7月に宮寺配本所での図書館の行事を実現いただき大変感謝しています。</p> <p>一方で、宮寺支所が地区センターになり、二本木分館が数年の間に消滅するという大変残念です。私の組織では、8年程講座を実施しているのですが、二本木分館の窓口には従来の職員がおらず、会場を借りる手続きやパネルの貸出もなかなかうまくいきません。</p> <p>大学や他の組織との連携という話がありましたが、私の活動する組織でもそのような活動を進めています。</p> <p>事業報告であった「やまばと号」の特別訪問など、そのようなことができることを知らない管理職もいます。中学校の校長先生ですと、小学校と図書館との連携といった発想がありません。図書館の方からどんどん声を掛けていただきたいと思います。</p> <p>また、私の活動している会では毎月会報（『日光街道二本木宿探訪』）を平成27年から発行しています。現在97号となり、地域の方に読んでいただくことでだんだん広まってきました。図書館にも置いていただき感謝しています。</p>
平岡館長	<p>地区センターの利用についてご不便をおかけしていることについては申し訳なく思っておりますが、職員もサービスの充実を図れるよう努めておりま</p>

発 言 者	発 言 内 容
本田分館長	<p>す。</p> <p>また、図書館の活動については、学校にもPRをし、利用していただけるようにさらに努めてまいります。</p> <p>毎月送っていただいた会報を拝見しておりますが、図書館においても多くの市民の方に手を取ってもらえるように努めてまいります。</p> <p>(3)令和5年度図書館を使った調べる学習コンクールについて (「第3回 入間市 図書館を使った調べる学習コンクール」にもとづき説明) 今年度の応募状況につきましては6ページをご覧ください。</p> <p>今年度は372作品、373名、前年比145%のご応募をいただき、市内小学校16校のほぼ全ての学校から前年を上回るご応募をいただきました。特に豊岡小学校、藤沢東小学校の2校からは50作品を超える応募をいただくことができました。内訳は、低学年の部が168作品、中学年の部が110作品、高学年の部が94作品となりました。今年も低学年の部は画用紙1枚で作成するミニ調べ学習作品で募集しました。</p> <p>7ページの審査会についてですが、今年度も一次、二次、三次審査の3段階で審査をしましたが、作品レベルが昨年度にも増して上がっております。特に、中学年の部では完成度の高い作品が多かったです。中学年で応募いただいた児童の多くは昨年度・一昨年度に低学年の部で応募した児童が多かったです。画用紙1枚でできるミニ調べ学習を体験することにより基礎を学べた児童が多かったものと推測します。</p> <p>審査結果は8ページに概要を記載してあります。中学年の部、高学年の部の上位3作品ずつを全国コンクールの最終審査会に推薦出品しました。全国コンクールの結果は1月10日頃に図書館振興財団ホームページに発表されます。また、各部門の奨励賞以上入賞作品を第3回入間市コンクールの優秀作品集に掲載します。優秀作品集は3月中旬頃に完成予定です。</p> <p>11～12ページにはコンクール推進事業である「調べる学習講座」について記載してあります。今年度は特に学習講座に参加できない児童の為に昨年、入間市公式YouTubeに公開しました学習講座動画の視聴促進に注力しました。チラシ、ポスターに二次元バーコードを載せた効果が大きく、昨年度から今年6月までの3動画合計視聴数は600回程度でしたが、今年7月以降は2,200回を超える動画視聴をいただきコンクールの参加促進ができたと感じます。</p>
森谷委員	<p>コンクールは3回目を迎えて、今回も様々なテーマで、子どもたちが疑問をもったことをまとめ上げることが、素晴らしいと思いました。非常に良い企画ですので、ぜひ続けてやっていただきたいと思います。</p>
野崎委員	<p>先ほども言いましたが、図書館が直接学校へ入り込んで進めていく必要があると思います。今の学校の現場はこれ以上余計なことを増やしたくないような状況です。私も校長を十数年やりましたので、そのことをよくわかっています。余計に見えることが生きてくるということをお伝えしたいと思っています。</p>

